



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第275号

新年度がはじまるにあたって

主の御復活おめでとうございます。新しい年度にあたりひと言ご挨拶申し上げます。

昨年水巻教会の委員長に選出されて一年がたちましたが、貴重な体験を通して学んだことがあります。それは、たくさんの方に支えられて教会が成り立っているということ。次に教会の中(人)には色々な考え方があり、まさに社会の縮図だと思いました。特に「たくさんの方の支え」は委員長にならなければ気が付きませんでした。毎週お茶や聖堂のお花の準備をしてくださる方々、からしだねの準備、行事のたびにお手伝いを快く引き受けて下さる方々など、何の報酬も受け取ることなく、教会に集う人のために黙って働く、まさに縁の下の力持ち、そのものです。

その方たちを見ていて若い世代にはなかなか真似の出来ないことだなと感じました。しかし若い世代にも、少しずつ希望の芽が育ち始めたような気がします。

何かの行事があれば積極的に手伝いをしてくれます。聖堂横のベランダから眺めていると40代の壮年が一生懸命最後の後片付けしている姿が目につきます。そして何よりも、少しずつですが子供たちの姿が増えつつあります。

それは、昨年の副委員長の挨拶文にもありましたが、赤ちゃんから年配の方まで集う「理想の教会」そのもののような気がします。これからも、キリストを通して出会った人々がつながりを大切に、成長していけるように願っています。

最後になりましたが、「日本一楽しい教会」を目指そうぜ!と笑いながら話してくれた竹森神父様、お誕生日おめでとうございます。還暦という人生の節目を水巻教会で迎えられたことは運命?だったのでしょいか、神の御摂理…という言葉は、少し重いでしょいか?

いずれにせよ、神を通してつながった私たちが、教会の中でそして様々な活動を通して、神父様と信仰のうちに過ごす喜びを分かち合えたらと思います。新しい年度が始まりました。

どうぞ一年間宜しく願いいたします。

馬込次郎

今、モーセの十戒を読み直す・・・	2面
よろしく願いいたします・・・	3面
教会学校のページ・・・	3面
委員会報告・・・	4面
典礼委員会議事録・・・	5面
公文書シリーズ・・・	6面
子どもたちのページ・・・	7面
おしらせ・聖書への案内・・・	8面

「今、モーセの十戒を読み直す」No.2 さいたま教区長 谷 大二司教

派遣切りの原因は2004年にできた派遣労働法が一つ、もう一つは企業のご都合主義です。だから不況は単なるきっかけにしか過ぎない。企業にとって都合のいいきっかけだった。それでどんどんクビを切っていった。これが派遣切りと呼ばれているものです。

だから派遣切りの原因が不況にあるのではないと、私は思っています。そういう派遣労働者たちの不安は大きいし、それからネットカフェ難民と呼ばれる若者たちもホームレス状態になっている。そういう若者も増えています。

今年(2009年)4月、政府は難民申請者130人の生活支援金をカットし、路頭に迷う状況になってしまいました。こうした人間が生きていくことを否定してしまうというような事態まで起こっているのです。7月8日には入管法、住基法などの改正が行われて、徹底した移住者管理が行われています。こういった状況は今だけのことでなくて、戦前戦中の日本を思い起こさざるを得ないですね。朝鮮半島ではどうだったか、台湾や旧満州、そういったことも思い出されます。それから当時の強制労働や、いわゆる従軍慰安婦と呼ばれている人たちのことも思い起こさざるを得ないような状況です。だから昔も今も全く変わっていないんじゃないか、いや、今また結構ひどい状況に入っているんじゃないかという気がします。

それは3000年、4000年前のエジプトにおけるイスラエルの民と全く同じ状況ではないかと思える訳です。

*エジプトで苦しむイスラエルの民

聖書にどう書かれているでしょうか。「エジプト人はそこでイスラエルの人々の上に強制労働の監督を置き、重労働を課して虐待した。エジプト人はますますイスラエルの人々を嫌悪し(差別とか偏見とかにつながっていくような表現です)イスラエルの人々を酷使し粘土こね、れんが焼き、あらゆる農作業などの重労働によって彼らの生活を脅かした。彼らが従事した労働はいずれも過酷を極めた」(出エジプト記1・12-14)このように聖書には書かれています。

ほかのところを探しますと、「ファラオに任命された追い使う者(この追い使う者って何だろう? 今で言えば、日本にはないですけど、移民管理局の役人みたいなものでしょうか。入国管理局はありますけれど)追い使う者は言った。この怠け者めが。お前たちは怠け者なのだ。だから主に犠牲をささげに行かせてくださいなどと言うのだ。すぐに行って働け」(出エ8・17-18)。つまり、主に犠牲をささげに行かせてくださいとは、今で言えばミサに行かせてくださいということです。宗教の自由も認めなかった。そして労働させられた。そういうことが書かれています。

「モーセは、そのとおりイスラエルの人々に語ったが、彼らは厳しい重労働のため意欲を失って、モーセの言うことを聞こうとはしなかった」(出エ6・9)。今、私たちも似たような感じにいるんじゃないでしょうか。いまさら政府に何か言ったって始まらないよって思う人もいるし、労働者の中ではもう今は我慢して働くしかないんだ、こういう風に考えている人も多い。これは言わば奴隷根性と言えらると思います。抑圧され過酷な労働を課せられているが故にこの奴隷根性というものが身に着いてしまった。そういうイスラエルの民の姿を表した言葉ではないかと思えます。

(次号へ続く)

よろしくお願ひいたします。

フランシスコ・アッシジ 古郡 忠夫

はじめまして。東京教区神学科二年の古郡忠夫（ふるごおり ただお）と申します。今年一年司牧実習という形で、水巻教会で奉仕させていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。

この場をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきたいと思います。

わたしは東京の生まれで、両親もカトリックの信者、幼児洗礼です。歳は今年で二十六歳になりました。東京の潮見教会という教会の出身です。はじめに司祭になりたいなと思ったのはカトリックの幼稚園に通っていたときです。イエスさまが本当に好きでした。その後、教会からしばらく離れてしまった時期もありましたが、動物が好きで、酪農の勉強をするために北海道の大学に行き、もう一度教会にも行くようになりました。そのときに出会った、すべてをかけて奉仕する司祭の姿を見て、やはり司祭になりたいと思ひ志願いたしました。

昨年、福岡サン・スルピス神学院と東京カトリック神学院が合同となり、「日本カトリック神学院」となりました。大きな不安の中で、思ってもいかなかった福岡での新しい生活が始まったわけですが、本当に多くの方のお祈りと励まし、援助によって恵み豊かな日々を送らせていただいております。

神学院での養成も四年目を迎え、福岡での生活も二年目となっても、弱い、ただの若者に過ぎないわたしが、水巻教会で十全に奉仕することができるだろうかと不安な気持ちがないと言えは嘘になります。しかし、神さまがその弱い部分でわたしを使ってくださいるように日々祈り、誠実に皆さんと交わり、関わっていきたく思ひます。特に、教会学校の子どもたち、中高生、青年との出会いを通して、ともに復活の主への信仰を深め、神のみことばをのべ伝えるものとなっていきたいのです。どうぞよろしくお願ひいたします。



教会学校のページ

4月11日 始業式

- ・ 教会学校の始業式がありました。
- ・ ミサ中に新1年生2名の紹介をしました。
 - ※ 古郡神学生が6年生を担当します。
 - ※ 教会学校に新しいリーダーが増えました。

委員会等報告

2010年4月分

4月度小教区委員会

4月11日

1. 前委員会の議事確認

①復活祭の日程、その他確認

- ・聖木、聖金、聖土は午後7時半からミサ
- ・例年通り、復活卵の祝別(土・日)
- ・4月4日復活祭のミサは午前10時。ミサ中に5名の初聖体式。ミサ後茶話会。

②総会資料の確認

③司祭館裏のゴミ容器の設置について

- ・参考資料を見て検討する。
- ・試しに1つだけ容器を買って置いてみる。

④司祭館裏のプロパン置き場の問題

- ・業者に頼んで補修済(無料)

⑤ミサ時間について

- ・4月10日(土)から元のミサ時間に戻す。

2. 先月の行事報告

- ・3月28日(日) 枝の主日
- ・4月1日(木)～4月4日(日)
聖週間、復活の主日
土曜日・日曜日 ミサ参加者270名
卵の祝別式
- ・4月4日(日) 初聖体 5名
ミサ後にお菓子とジュースで茶話会
- ・ハイチ地震の救援献金 74,800円
- ・四旬節愛の献金 61,000円
- ・聖金曜日(聖地献金) 28,400円

3. 議題

①信徒総会 提案事項

- ・地区役員、グループ代表者の確認
- ・他にも何か気がついたことがあれば、5月8日(土)までに教会役員に連絡

②初めて教会に来た人のために

- ・初めて教会に来た人に、パンフレットや聖歌集などの場所を案内するために、ドアに小さな紙片を貼る

③地区集会

- 3月28日 赤間・梅ノ木・芦屋
- 4月18日 遠賀・折尾・高須青葉
- 4月25日 中間・吉田・海老津
- ・通夜、葬儀について
- ・総会用の予算・決算について 他

4. 各委員会から

○北九州平和の集い

日時 8月8日(日) 小倉教会にて
 実行委員長 瀬下さん(黒崎教会)
 テーマ 次回(5/2)に決定予定
 内容について(これから検討していく)
 行橋教会から提案
 「地球のステージ」(NPO 法人)

○香炉とスタンド一式を購入

○水巻教会のインフルエンザ対策の解除
 教区より小教区で判断可と言われた
 4月18日(日)から通常に戻す

○納骨堂委員会

納骨堂委員会の集まりを6月に行う。
 ・集まりを総会の後にしてはどうかという意見があるので、今後検討する

○幼稚園、教会の火災報知器の点検

3月26日に点検済み
 信徒会館の分は電池切れのため交換

○典礼委員会より

4月18日(日)「祈り語り合う集い」
 5月聖母月 ロザリオを唱える
 ・ロザリオで10個玉のところは3個のものがあるので、それを使ってはどうか→検討する

5. これからの主な予定

- 5月8日(土)総会資料の印刷・製本
- 5月9日(日)小教区委員会
- 5月16日(日)信徒総会

2010年度 第1回 典礼委員会議事録

開催日時：2010年4月14日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、松尾、安永、山本、三谷、柴田、矢田

《確認事項》

1. 「黙想の家で祈り、語りあう集い」(4月18日 14時~17時)
参加予定 26名 (うち未信者 9名)
テーマ 「いのち」 お話 45分+お茶と交換会+まとめのお話。今回は参加費無料
2. 典礼聖歌研修会無期延期 深堀先生の回復が遅れているため
3. 主の昇天 5月16日 (水巻教会信徒総会) 聖霊降臨の主日 5月23日
4. 6月13日(日)14:30より典礼部会(小倉教会)、
11月23日(勤労感謝の日)1日研修会の予定

《審議事項》

1. 「葬儀マニュアル」神父(案)を了承
2. 5月の聖歌予定表を確認
3. 今後の「黙想の家の集い」について
費用 信徒の参加者については、入館料(300円)を徴集、
典礼委員会負担 講師料(10,000円)未信者入館料と部屋代は教会会計より
第2回集いの日程 6月27日(日) 14:00 講師未定
第3回集いの日程 10月10日(日) 14:00 講師未定
4. 聖母の月 ロザリオの祈り 9:00より 2連 担当司会が先唱
1週「喜びの神秘」 2週「苦しみの神秘」 3週「栄えの神秘」
4週「光の神秘」 5週「光の神秘」
5. 新典礼委員
窪田将也(海老津地区)さん
6. その他
 - ・ミサ前の聖歌練習について 原則として10分間とする。週交代で実施
 - ・聖週間の反省
聖なる三日間のミサ前聖歌練習は避けること。
徹夜祭のローソク準備、ローソク受けづくりは典礼委員会が事前に行う。
採火用にコンロを購入する。(焚き火は準備と後始末に時間がかかる)
日曜日の聖堂掃除について --- 行事と重なるため平日清掃を工夫する。
 - ・インフルエンザ対策を解除(18日より玄関の聖水使用可)
 - ・古郡忠雄神学生に朗読を依頼することが出来る。

公文書シリーズ 第6回 典礼憲章(3)

典礼憲章を紹介してきましたが、3回で終わることとし、今回、第5章、典礼暦年、加えて、第7章 教会芸術と教会用具、について伝えます。

典礼憲章 第5章 典礼暦年：

教会は、一年を通して、主日と名付けた日(日曜日)に主の復活を記念すると共に、ある月、ある日に、主の歩んだ道に対して聖なる想起をもって祝うことを務めとしています。

特に、一年を周期とし、それをを用いて教会は、「キリストの秘儀全体を、受肉と降誕から昇天へ、また聖霊降臨祭へ、さらに、幸いなる希望と主の来臨の待望へ」(102節)、展開していくのです。典礼暦年のうち、主日・祝日における大切な典礼について書かれているものを、次に示します。

*聖母への崇敬(103節)：一年の周期においてキリストの諸秘儀を祝う中で、聖なる教会は神の母、マリアを特別の愛をもって祝う。

*四旬節(109節)：四旬節は、この期間に行われる洗礼および償いの要素においても、また、この期間に行われる典礼的教話においても、その意味を明らかにしなければならない。

*聖人の祝日(111節)：聖人は、教会において崇敬され、その真正な遺物と肖像は尊敬される。聖人の祝日は、しもべわれらに現れたキリストの奇しきみ業(くしきみわざ)を告げ知らせ、学ぶにふさわしい模範を信者にしめしている。

(執筆者注記)以上の聖母への崇敬と、聖人の祝日について考えてみましょう。日本のミサの現状を見てみるに、もう少し変化を持たせ、聖母への崇敬を、それにふさわしい日には色濃く表すことができたらなあ、と思います。聖人の祝日に対しても同様ですが、少なくとも聖人の祝日には、このための固有の集会祈願、奉納祈願、拝領唱、拝領祈願などがあり、これを用いれば、努めて、聖人を記念することができるのでは、と思われま

典礼憲章 第7章 教会芸術と教会用具(ここでの芸術とは美術・工芸等を指すと思われま

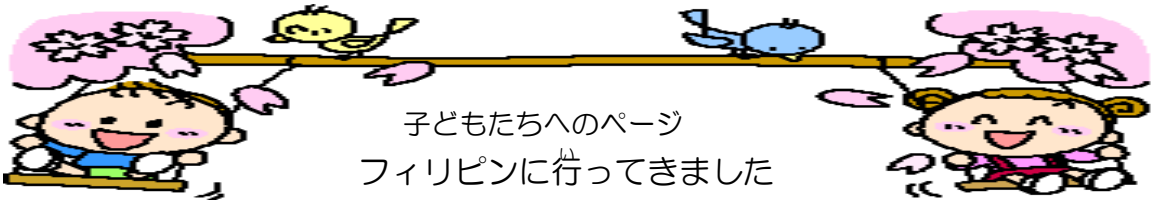
す。)*このことについては、冒頭の文章に次のように書かれています。

「芸術は、人間の作品をもって神の無限の美をある程度表現しようとするものである。」「したがって、教会は、常に芸術の友である。教会は、礼拝に用いられるものが、真にふさわしく、品位をもち、美しく点状のものに印と象徴であるように、芸術と高貴な奉仕を求めてきた。」(122節)

*具体的なことに触れている節は、やはり「聖画像」(125節)の節です。

「信者のために聖画像を置く慣例は、保存されなければならない」とあると同時に、奇妙な感じを起こさせる、誤った方向に向かうものは制限すべき、とあります。すなわち、聖画像等に品位を保たせる努力は必要だが、第2バチカン公会議から、結果的に結論される近年の傾向：「典礼の厳格な施行と言葉による達成」によって、聖画像・彫刻等が重要視されず、減少させられる傾向は、本意ではないことが謳われています。

その他、多くの節を用いて、教会芸術の造詣が深い司祭の存在が奨励され、また、信徒の中で芸術家が養成されることが、望まれています。



子どもたちへのページ
フィリピンに行ってきました

3月の初めの週にフィリピンに行きました。

フィリピンは日本の南で福岡から2000キロメートル南です。福岡空港から飛行機で三時間しかかかりません。夏になると日本に飛んでくるツバメがたくさん飛んでいました。このツバメが5月に日本まで2000キロメートル飛んでくるのかと感心しました。

何をしにフィリピンまで行ったかという、山に行ったのです。

フィリピン国はたくさんの島が集まった国ですが、一番大きなルソン島にはたくさんの山があります。国の中心はマニラ市ですが、その町から2時間くらい北に行ったところに大きなピナツボ火山があります。この火山の噴火は激しくて近くの町がいくつも火山灰で埋まりましたし、アメリカ軍のクラーク空軍基地も飛行機のエンジンに砂が入って飛べなくなるので、外国に出て行ってしまいました。今、この飛行場があったところは全部田んぼになっていました。

マニラ市の南には阿蘇山のように大きな火山があります。噴火した後が大きな湖になっていてその真ん中に世界一高さが低い270メートルのタール火山があります。この火山を見るためには湖を船で行かないといけません。タール火山より

南にある2000メートルの山は昨年噴火しました。フィリピンは日本と同じくらい火山がたくさんある国です。

私たちは、マニラ市から車で10時間北に行ったところの山に行きました。

ここには世界遺産になっている棚田があります。棚田というのは山の下から上に向かって段々に田んぼを作り、その田んぼでこめをつくっているところです。狭い田んぼは幅が二メートルくらいしかありません。

バダット村というところまで山道を3時間歩いて行きましたが、ここでは山の間に下から上まで百段くらいの田んぼがありました。下のほうに10くらいの家がありましたが、ここの真ん中にも教会がありました。フィリピンではどこの村にもカトリック教会があります。

バダット村の棚田を上から見た風景は、フィリピンの1000ペソ(2000円くらい)のお金の裏に印刷してあります。日本のお金には富士山の写真があるのと同じですね。

それから、どこに行ってもバナナ、ココナツ、パイナップル、マンゴウなどの木があり、一年中暑い国です。山道を歩く時は、日本で夏に外を歩いているのと同じです。30度以上ですから汗びっしょりになりました。



★特別献金★

ハイチ大地震支援募金	74,800円
四旬節愛の献金	61,000円
聖地エルサレム献金	28,400円
ご協力、ありがとうございました。	

★初聖体式★

4月4日5名の子ども達が初聖体を頂きました。彼らのためにお祈りください。

浅田 夏希さん	(梅ノ木地区)
平田 稜祐さん	(海老津地区)
井上 美砂さん	(遠賀地区)
田中 健三郎さん	(高須青葉地区)
川島 優也さん	(中間地区)

★5月 聖母月★

5月は聖母月です。ミサが始まる30分前にロザリオの祈りを唱えます。

★インフルエンザ対策★

昨年10月から行っていた新型インフルエンザ予防対策の措置を、4月18日から解除し、通常に戻します。今後も各自で予防に努めてください。

★信徒総会★

日 時：5月16日(日)ミサ後

事前(9日)に各家庭1部ずつ資料を取り、目を通しておいてください。

聖書への案内 No.10 サムエル記 No.2

サムエルに油を注がれ王になったサウルは、周辺の他民族と戦いを始めます。サウル王が支配する年月が長く続きましたが、この間は戦いが長く続きました。そのため民の心はサウルから離れていきました。

主の言葉がサムエルに臨みました。「わたしはサウルを王に立てたことを悔やむ。・・・」(サムエル記上 15章 10~11)

そのためにサムエルは次の指導者を探すことになりました。

主はサムエルに、ベツレヘムのエッサイの息子の中に次の王がいることを告げます。サムエルはエッサイの一番下の息子ダビデの頭に油を注ぎました。その後、ダビデはサウルに仕えるようになります。

ペリシテ人との戦いのときに、大男の戦士ゴリアトが出てきて戦いを挑みますが、ダビデは一人で戦い、この戦士を倒します。そのためにダビデに人々の心が集まります。それからのダビデの物語は波乱万丈です。ダビデはイスラエルの国をまとめ王国を築き上げました。旧約聖書の中で最初に書かれたのがサムエル記です。サムエル記上9章からがソロモン王の時代に書かれたといわれています。

その理由は、ダビデ王によって王国が成立したことを記録するためでした。そして王国の建設が神の恵みであったと考えられていたからです。